



郷小だより

茅ヶ崎市立浜之郷小学校

2022年7月1日

7月号

校長 木村 千裕

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分が再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。



夏の到来を思わせるような太陽が照りつける毎日が続いています。気象庁は6月27日に、関東甲信地方の梅雨明けを発表しました。平年よりも22日早く、統計開始以来最も早い梅雨明けだそうです。

梅雨は湿気が多く、人によっては気が重くなる季節かもしれませんが、この時期の雨は、稲や野菜の成長に欠かすことのできない「恵みの雨」として大きな役割を果たしており、今後、水不足などの影響が心配されます。

梅雨明けとともに、東京都心では「6月では史上初」となる5日連続の猛暑日を記録しました。学校では暑さ指数(WBGT)の測定を行い、「厳重警戒」を示す28℃を超えた際には、中休みや昼休みの外遊びを取りやめていますが、6月終わりからは外遊びができない日が続いています。こうした暑い日でも登校や下校時にマスクをしている子が多くみられます。学校でも熱中症対策として登下校や体育等の際はマスクを外すよう話をしていますので、ご家庭でも声かけをお願いします。

さて、今月20日で前期前半が終了となり夏休みを迎えます。4月からの3か月を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の感染防止のためにできなかったことが、感染対策に伴い形を変えながらも少しずつ実施ができるようになってきました。6月24・25日には5年生の宿泊キャンプが行われ、宿泊コテージの人数調整や野外炊事の工夫など様々な感染予防を行いながら、自然の中での共同生活を通して、「自分の役割」や「友達とのつながり」を学びました。9月11・12日には、6年生の修学旅行も予定されていますので、このまま感染状況が悪化しないことを祈るばかりです。

7月21日から8月30日まで夏季休業となります。家庭や地域で過ごす夏休みが、子どもたちにとって「実りある夏」になることを期待しています。



6年生のみなさん、ありがとう！

管理上、清掃が必要だった学校プールを6年生が掃除してくれました。みなさんが掃除をしてくれたプールを大切に使っていきます。6年生のみなさん、いつも浜之郷小学校を支えてくれてありがとう。